

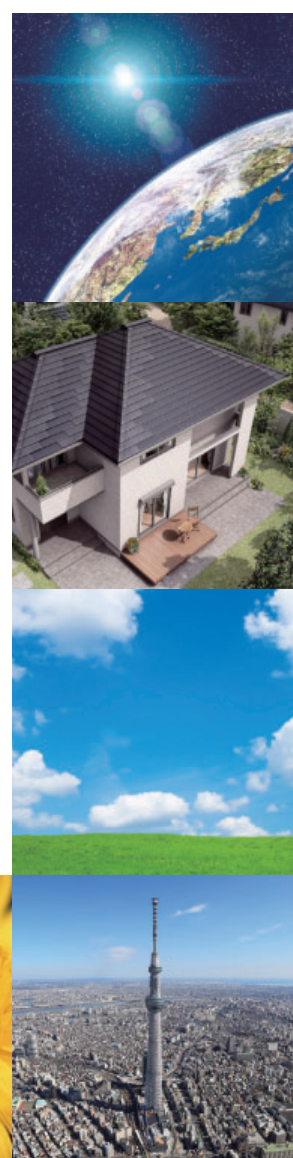
カガクで、
ネガイを
カナエル会社。

KANEKA

高性能ノンフロン断熱材

カネライトフォーム[®]スーパーEX

JIS A 9511 A種 押出法ポリスチレンフォーム保温板 3種b



株式会社 **カネカ**

ReNew

高性能ノンフロン断熱材

カネライトフォーム[®]スーパーEX■ カネライトフォーム[®]スーパーEXの特長

優れた断熱性能

熱伝導率0.024W/(m・K)を達成。押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bに対し、断熱性能が15%アップ。

優れた圧縮特性

押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bの圧縮強さ20N/cm²を確保。

優れた安全性・環境性

JIS燃焼性規格合格、発泡剤のノンフロン化／PRTR対象物質のゼロ化を実現。

■ カネライトフォーム[®]スーパーEXの一般物性

項 目	単 位	カネライトフォーム [®] スーパーE-Ⅲ	カネライトフォーム [®] スーパーEX	試 験 法
JIS規格 記号・種類		A-XPS-B-3b(3種b)	A-XPS-B-3b(3種b)	
密 度	kg/m ³	25以上	25以上	JIS A 9511
熱 伝 導 率	W/(m・K)	0.028以下	0.024以下	JIS A 9511
圧 縮 強 さ	N/cm ²	20以上	20以上	JIS A 9511
曲 げ 強 さ	N/cm ²	25以上	25以上	JIS A 9511
吸 水 量	g/100cm ²	0.01以下	0.01以下	JIS A 9511
透 湿 係 数	ng/(m ² ・s・Pa)	145以下	145以下	JIS A 9511 (厚さ:25mm)
燃 焼 性		合 格	合 格	JIS A 9511
ホルムアルデヒド放散区分	等 級	F☆☆☆☆	F☆☆☆☆	JIS A 9511

※密度、熱伝導率、圧縮強さ、曲げ強さ、吸水量、透湿係数、燃焼性については、製品規格値です。

※燃焼性の規格は「3秒以内に炎が消えて、残じんがなく、かつ燃焼限界指示線を超えて燃焼しない」ことです。

■ カネライトフォーム[®]スーパーEXの規格

	単 位	カネライトフォーム [®] スーパーE-Ⅲ	カネライトフォーム [®] スーパーEX
厚 み	mm	20・25・30・35・40・45・50・ 55・60・65・75・90・100	40・45・50・55
巾		910	910
長 さ		1820	1820

※規格の詳細につきましては、当社までお問い合わせください。

従来製品よりも断熱性に優れた 押出法ポリスチレンフォームを開発!! さらなる省エネ化に貢献!!

■ カネライトフォーム®スーパーEXと各種断熱材との断熱性能比較

断熱材の種類	熱伝導率※ ¹ (W/mK)	カネライトフォーム®スーパーEXとの断熱性能比較※ ²
カネライトフォーム®スーパーEX	0.024	 (100)
吹込み用グラスウール	0.052	 (217)
グラスウール16K	0.045	 (188)
A種押出法ポリスチレンフォーム 1種	0.040	 (167)
A種ビーズ法ポリスチレンフォーム 特号	0.034	 (142)
A種押出法ポリスチレンフォーム 3種	0.028	 (117)
A種硬質ウレタンフォーム 2種4号	0.028	 (117)
A種硬質ウレタンフォーム 2種2号	0.024	 (100)

※¹ カネライトフォーム®スーパーEXの熱伝導率以外は、住宅金融支援機構監修の住宅工事仕様書によります。

※² カネライトフォーム®スーパーEX厚100mmと同等の断熱性能に換算した場合の各種断熱材の厚さ (mm)

参考 木造住宅の壁断熱材厚さ

地 域	熱抵抗値 (mK)/W	断熱材の種類と必要厚さ (mm)	
		カネライトフォーム® スーパーEX	カネライトフォーム® スーパーE-Ⅲ
I	2.9	70	85
Ⅱ～Ⅴ	1.7	45	50

※上記の値は、住宅金融支援機構監修の住宅工事仕様書に規定される熱抵抗値
(平成11年基準、外張断熱工法の場合)から算出した厚さであり、弊社規格厚みではありません。

参考 木造住宅の床断熱材厚さ

地 域	熱抵抗値 (mK)/W	断熱材の種類と必要厚さ (mm)	
		カネライトフォーム® スーパーEX	カネライトフォーム® スーパーE-Ⅲ
I・Ⅱ	3.3	80	95
Ⅲ～Ⅴ	2.2	55	65

※上記の値は、住宅金融支援機構監修の住宅工事仕様書に規定される熱抵抗値
(平成11年基準、充填断熱工法(その他の部分)の場合)から算出した厚さであり、弊社規格厚みではありません。

施工例



カネライトフォーム®スーパーEX
外張り断熱施工例

カネライトフォーム[®] スーパーEX 取扱上の注意事項

▲火気注意

火気に接触すると燃えます。燃えると黒煙が発生します。従って輸送・保管・施工に際しては、火気に十分注意するとともに適切に養生して下さい。特に付近で溶接・溶断を行う際は、火花等があたらないよう確実に養生して下さい。

▲紫外線注意

直射日光に長時間（2～3日以上）さらすと徐々に表面から変色・劣化し、接着不良、厚み減少等の原因になりますので、保管に当っては養生シートでおおい施工後は仕上げを速やかに行ってください。

▲有機溶剤注意

アルコール系以外の有機溶剤・石油類には侵されますので、使用接着剤・塗料の選択又、木造住宅の防腐・防蟻薬剤の選定及び、使用方法についても事前にそれらのメーカーにお問い合わせ下さい。溶剤を使って作業する場合は十分換気し、火気を使用しないで下さい。

▲高温注意

使用温度は70℃以下です。70℃を越えると徐々に変形し始めますので、高温での使用はさけて下さい。

▲割れ踏み抜き注意

局部荷重や衝撃には弱く割れやすい材料です。下地の無い箇所には乗らないで下さい。根太やたる木の上を歩いて下さい。

▲強風注意

軽量で取扱が容易な反面、風にあおられやすいので強風下での作業は、行わないで下さい。また、保管にあたっては上におもりをのせるかロープ掛け等で、飛散防止処理をして下さい。

▲その他の注意

1. フォーム屑が目に入った場合はこすらないで流水で洗浄して下さい。
2. 熱線スライス等煙の発生する作業をする場合は、換気を十分行って下さい。
3. 廃棄の際には、条例に従って処理して下さい。燃やすと黒煙(スス)がでますのでご注意ください。
4. 鳥・ねずみ・昆虫等によって損傷を受けることがあります。この場合も栄養源や、餌にはなりません。

注意事項に関しては、一般的取扱いを対象としたものです。

カネライトフォーム スーパーEX は主として断熱材として使われることを想定しています。

それ以外の使用に関して詳細は、弊社にお問い合わせ下さい。

株式会社 カネカ 発泡樹脂・製品事業部

東京本社 東京都港区赤坂1-12-32 (アーク森ビル)

〒107-6025

■ホームページアドレス <http://www2.kenzai.kaneka.co.jp>

<販売会社>

カネカケンテック株式会社 住環境事業部

本社・東日本営業部 東京都千代田区内幸町1-3-3

〒100-0011 TEL.03 (3596) 7011

西日本営業部 大阪市西区西本町1-13-40

〒550-0005 TEL.06 (6531) 7123

北日本営業部
北海道営業所 北海道札幌市中央区南1条9-1-15

〒060-0061 TEL.011 (222) 5231

北日本営業部
東北営業所 仙台市青葉区一番町4-6-1

〒980-0811 TEL.022 (722) 2901

東日本営業部
新潟営業所 新潟市木工新町431-2

〒950-0807 TEL.025 (273) 7690

西日本営業部
名古屋営業所 名古屋市東区武平町5-1

〒461-0008 TEL.052 (959) 3251

西日本営業部
九州営業所 福岡県筑後市上北島1055 (九州カネライト(株)内)

〒833-0033 TEL.0942 (52) 5248